

■ご挨拶

理事就任のご挨拶



一般社団法人 日本風力発電協会 理事 **藤塚 真也**
株式会社東芝 エネルギーシステムソリューション社 火力水力機器技師長

はじめに

このたび、当協会の理事を務めさせて頂くことになりました(株)東芝の藤塚でございます。今までは、火力発電機器を中心に担当してまいりましたが、本年より風力にも携わるようになりました。今までの技術・経験を活かし、微力ではありますが、風力発電の普及に貢献してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

当社の風力発電への取り組み

東芝では、火力・水力などの発電機器、制御システム、変電設備など長い歴史がある技術から、系統用電池、水素技術、太陽光、風力などの新しい分野も含めて、エネルギーを創る、送る、貯める技術とサービスを提供しております。

東芝の風力事業については、韓国風車機器メーカーとの資本提携と合わせて、風力発電所の計画、事業性評価、エンジニアリング、機器の供給、建設、試運転、保守といった風力発電プロジェクト全体の販売・技術サービス、及び、風力発電子会社による風力発電事業を行っております。このように、風力プラントメーカーと発電事業者としての両面の立場を持っております。現在東芝の風力発電子会社では、22MWの既設発電事業に加え、16MWの新規風力発電所を建設中であります。発電所の計画段階では、風況の調査、解析を行い最適立地ポイントを選定すると共に、弊社の得意技術である数値流体解析技術(CFD)を利用したマイクロサイティングを実施し、風車設置位置の最適化を図っております。

風力発電所の普及拡大について

これまでに風力発電に関係される皆様方の風力導入に向けてのご努力により、日本国内にても風力発電が広まってまいりました。しかしながら、諸外国に比べますといろいろな面から遅れを取っている状況です。系統連系、環境アセスメント、規制・立地の制約などと共に、コスト面での課題も存在しております。今後日本のエネルギーを考える上で、風力発電の重要性

がますます高まっていく中で、それらひとつずつ、しっかり解決していく必要があります。

特に、新規風力発電所立上げには、環境アセスや系統連系などの技術的、仕組みのハードルにも増して、地域の方々に受け入れられ、喜ばれ、信頼される発電所にしていくことが大変重要と考えております。そのためにも、地域に根ざした活動と地域の皆様に信頼される設備の提供、保守を含めた安定した運用に向けて技術開発に真摯に取り組んで参ります。

また、今まで火力・水力発電などの大型発電プラントの建設と運用・保守にて蓄積してきました技術・ノウハウと共に、風力機器メーカー、風力発電事業者として有している技術・データからIoT技術を駆使して、運転状態の監視、性能分析、異常予兆検知、設備診断、要因分析、予備品の管理などによる、メンテナンスコスト削減や最適な運用支援、稼働率向上などに貢献していけるものと考えています。



おわりに

今までに発電プラント技術と運用・保守にて蓄積してきましたノウハウと共に、風力機器メーカーであり風力発電事業者といった両面の風力事業運営で得た経験や情報を、可能な限り協会会員の皆様と共有することで、風力発電の発展の一助となるよう努力して参ります。協会の会員の皆様と共に、地球環境に優しいエネルギーである風力発電事業の発展に寄与して参りますので、宜しくご指導下さるようお願い申し上げます。